

2017年
クイーン倶楽部だより 9月号
第175号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail office@eco-rice.jp



8月22日の田んぼの様子

29年産
新米

今年の新米、
お届けまであと少し!

もうすぐ稲刈り。
田んぼの稲は頭を垂れて、刈り取りまでもう少しです。
夏までは天候に恵まれていましたが、このところの悪天候で生育が少し遅れ、昨年より刈取りまで時間がかかりそうです。
10月には皆様に獲れたての新米をお届けできるよう、準備していますので、もうしばらくお待ち下さい!



田んぼにもIT化の波が!

田んぼにまんべんなく肥料をまくのは、可視化できないのでとても大変です。今年、リモートセンシング(遠隔操作)での肥料散布を実験的に導入しています。事前にドローンで撮影した画像とGPSを駆使して、自動で肥料を均一に散布してくれる先進的な技術です。高齢化が進む農業に新たな風が吹きそうです。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

その29
ドクター私にも一言言わせて

※ドクター…英語で博士の意味

情報嵐に振り回される小舟

最近、健康について、「肉をどんどん食べた方がよいのか」、「熱中症予防のため冷房をつけねばならないのか」の質問をよく受けます。この質問はした方がいのかというイエス、ノーで答えなさいという形式です。いずれも、食べ過ぎてはいけない、環境のために冷房を使い過ぎてはいけない、という従来の啓蒙に、真っ向反対のことですので、皆に戸惑いがあるようです。

イエス・ノーで答えねばならないので、私は共にノーの回答を出します。その理由は肉の摂り過ぎは危険、冷房の掛け過ぎは電気代がかかり過ぎて環境上、よくないからです。すると、肉は食べるべきではない、冷房は使うべきではない、と解釈されます。

この質問と回答とが極端にぶれているためです。共にノーの回答は、肉は食べるな、冷房は掛けるな、の極端に振れてしまいます。肉の摂り過ぎ、冷房の掛け過ぎは、どういふことか常識で判断してくださいと、言っているに過ぎません。肉を食べる、暑い日中に冷房を掛けるのはどうぞ、と言っており、やり過ぎは危険と言っている次第です。

現代は情報社会で、皆身勝手なこと言い、常識が効かなくなり、極端に走るようになったようです。糖類は一切取らない、原子力発電はとんでもない、情報が走れば勝手に百パーセントぶれる怖い世界になってきました。

人々は情報に振り廻されて翻弄されています。操作情報社会での生き方は、自分なりの判断基準を持たねばならないことです。かつて、トイレットペーパーがない!の情報が踊り、押し入れにトイレットペーパーをしまい込み、もうしまうところがなくなつたで、目が覚めてブーム終焉という、一億総振り回され事件もありました。

糖一切駄目、塩分一切駄目が健康法になるのかは自分で判断し、生きねばなりません。情報嵐に翻弄され、振り回される小舟にならぬようにしましょう。